

デンマークカバードボンド市場 の現状について

2022年8月



信金インターナショナル

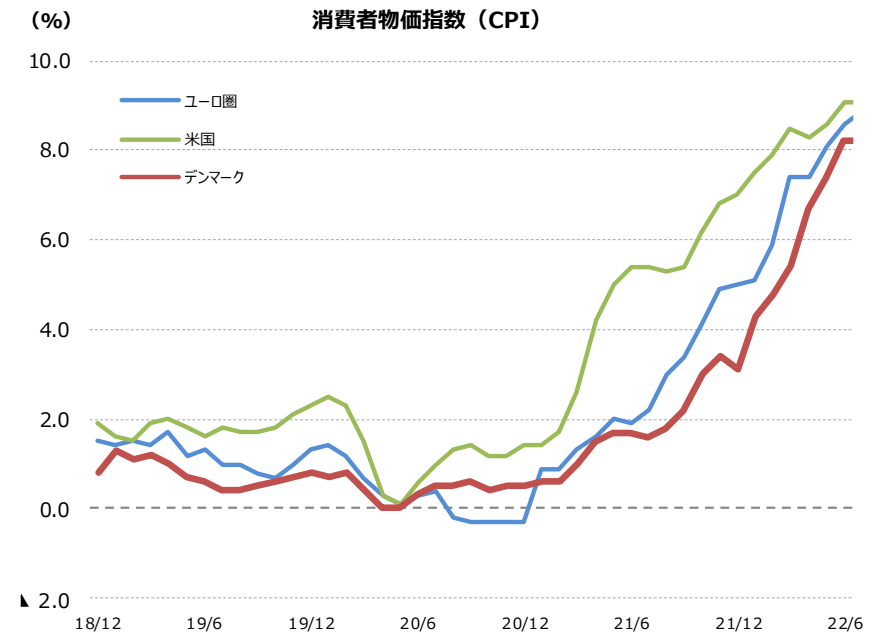
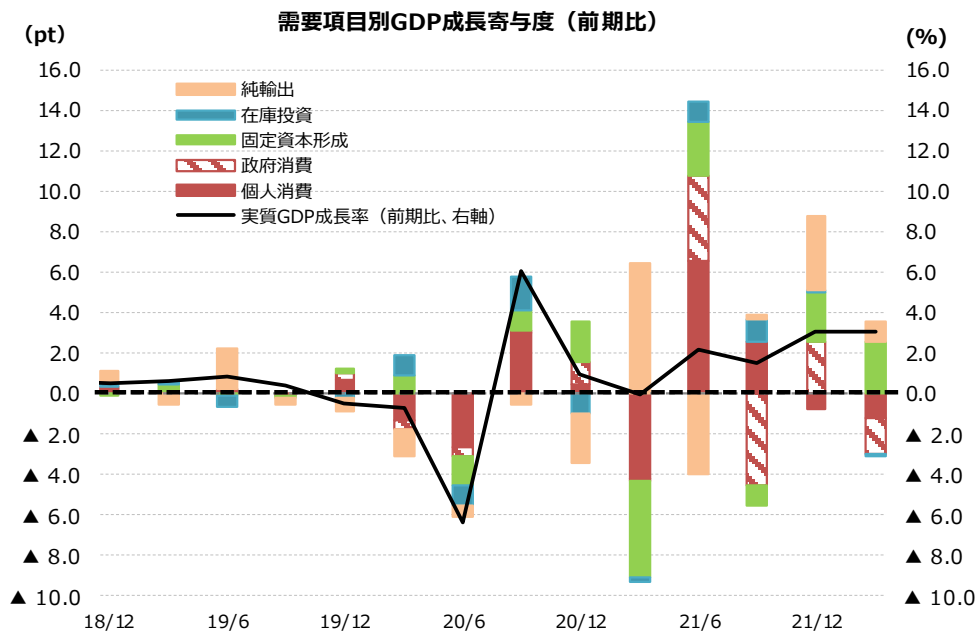


1. デンマーク マクロ経済環境
 2. デンマーク 住宅市場
 3. デンマーク カバードボンド市場の現状
 4. デンマーク カバードボンド市場の見通し
- (参考) デンマーク カバードボンド制度概要



1. デンマーク マクロ経済環境（1）

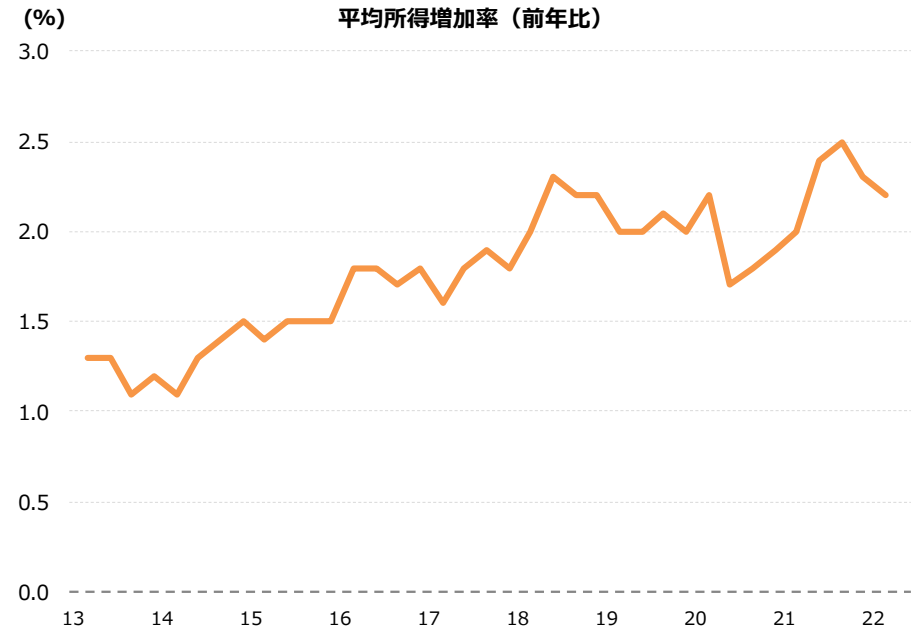
- ・ 足許のGDPは、コロナ禍の打撃から大きく反発し安定成長へ
- ・ インフレ率は、供給制約およびエネルギー価格上昇に伴い、他国同様高進
- ・ 対露エネルギー輸入依存度（21.1%）はEU平均（24.4%）を下回るが、相応にあり





1. デンマーク マクロ経済環境（2）

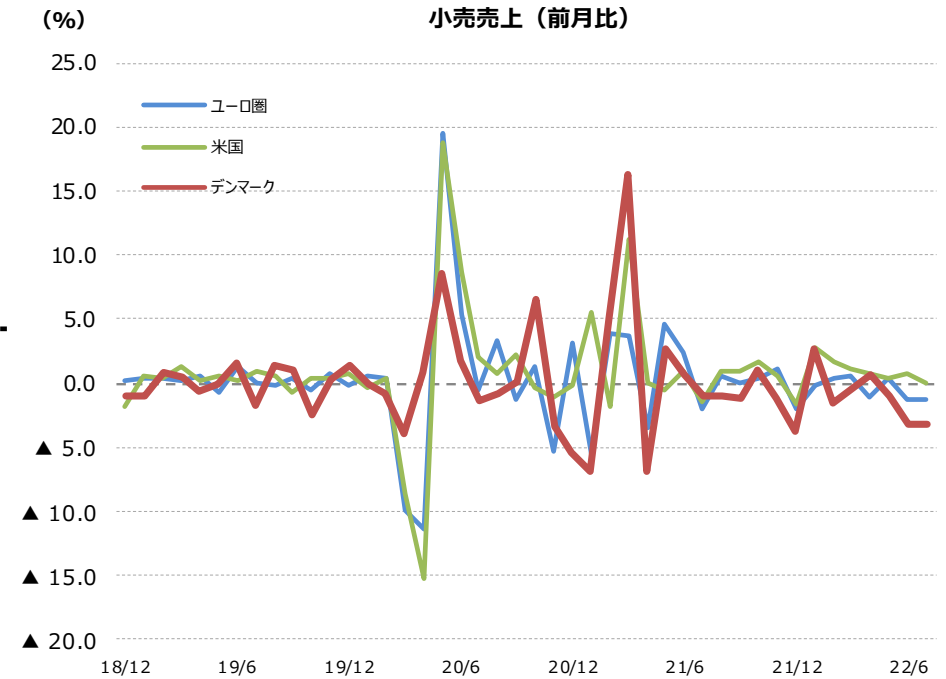
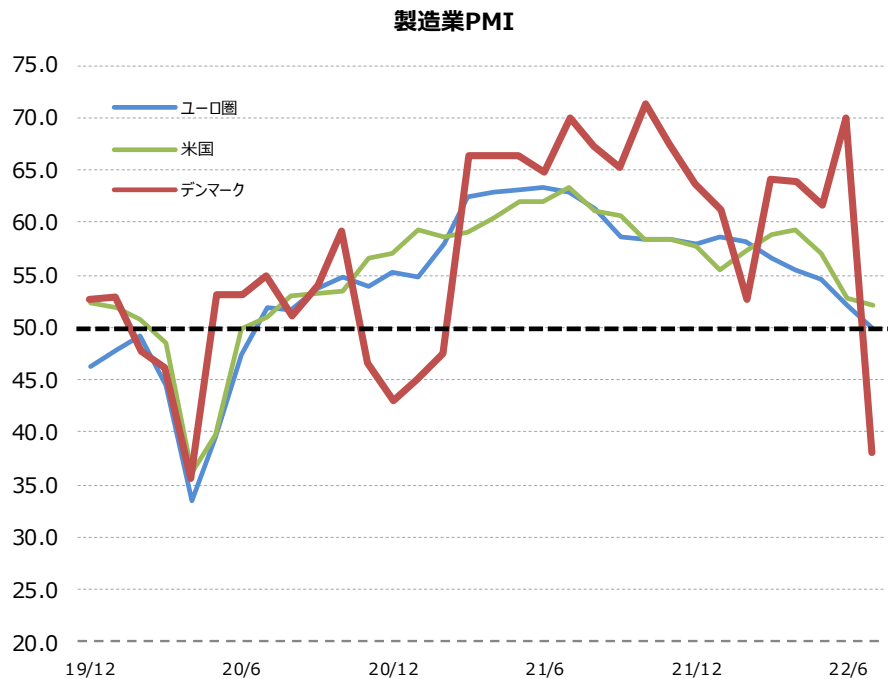
- ・ 失業率はコロナ後に低下基調で推移
- ・ 平均所得増加率も、安定的にプラスで推移





1. デンマーク マクロ経済環境（3）

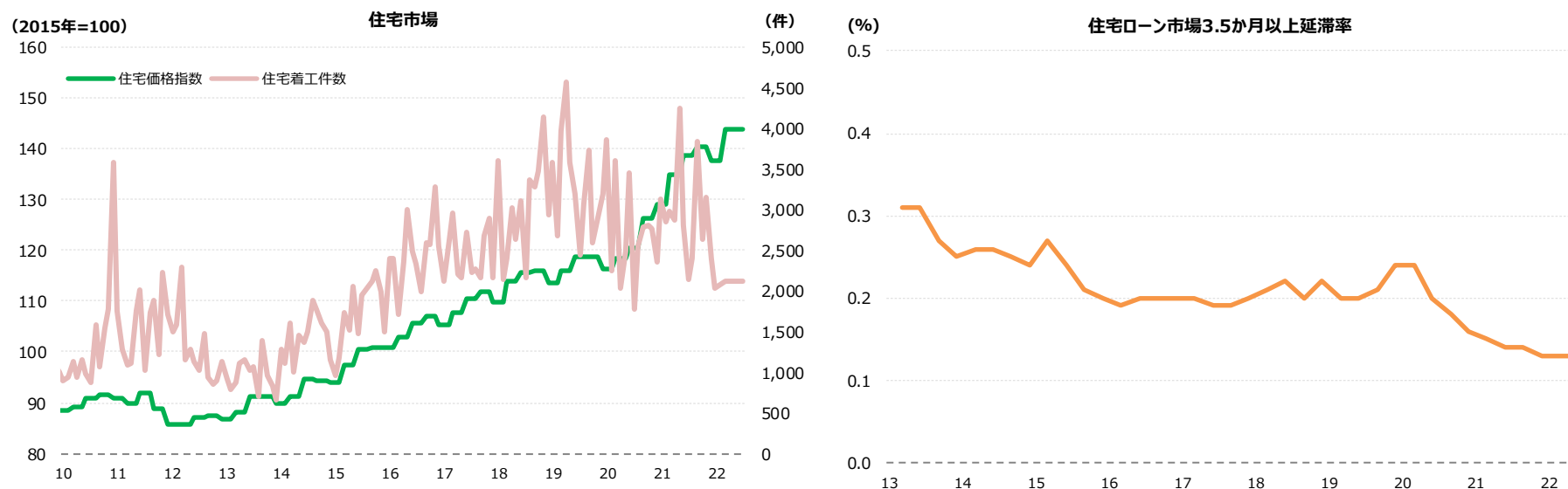
- ・ 7月には新規受注の大幅減少を背景に、製造業PMIが急落
- ・ 小売売上も3か月連続で前月比マイナスに
- ・ マクロ経済の安定成長を注視する段階へ



2. デンマーク 住宅市場



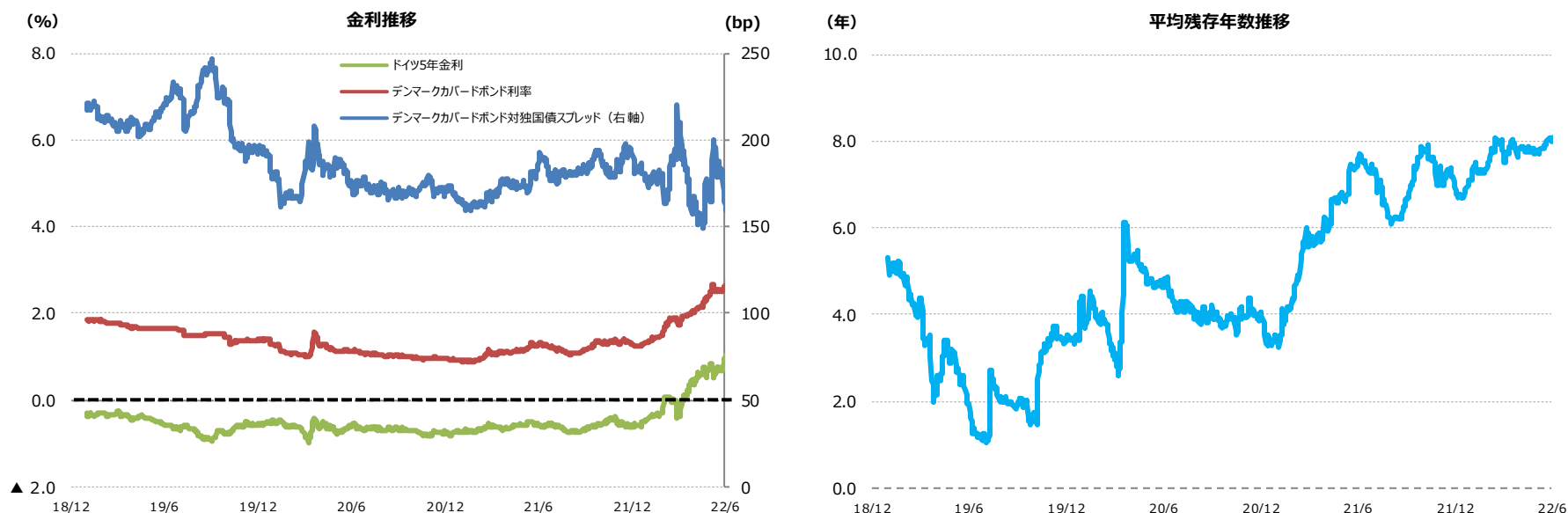
- ・住宅価格指数は、中央銀行の金融引締スタンスから、伸び悩む
- ・住宅着工件数は、住宅ローン金利上昇に伴い、足許でピークアウト
- ・延滞率は、一方で依然として低位で推移



3. デンマーク カバードボンド市場の現状



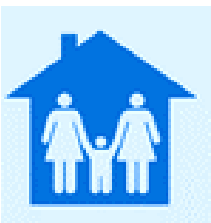
- ・ 2022年初からの金利上昇に伴い、カバードボンド利率も上昇して評価悪化
- ・ カバードボンドのスプレッドは、ボックス圏で推移
- ・ 低金利環境下でのIO（Interest Only）ローンの隆盛に伴う、平均残存年数上昇および金利感応度増大の状況下で、ドイツ国債金利が上昇したため、一部投資家からの売り（評価悪化、ポートフォリオ全体の残存年数制約等により）が出た模様で、2021年後半以降のカバードボンドスプレッド拡大局面を招いた
- ・ 平均残存年数は、足許で上昇が一服し、スプレッドも再度縮小



4. デンマーク カバードボンド市場の見通し



マクロ経済、労働市場は、高インフレ下でも堅調に推移しているがここもと弱含む経済指標が出ており、動向を注視



住宅市場に過熱感はなく、着工件数は足元でピークアウト



住宅ローン延滞率は、低位で推移



カバードボンドスプレッドは、一部拡大局面もあろうが、ボックス圏で推移



欧州中央銀行の金融政策、欧州マクロ経済環境の変化に伴う独国債金利の動向に注意

(参考) デンマーク カバードボンド制度概要



根拠法	デンマークカバードボンド法 (2007年)
二重遡及性	債務不履行時にカバードボンドの保有者は、裏付ローンの担保及び発行体である住宅銀行双方に対して遡及権あり
分別管理	カバードボンドの裏付けとなるローンは、カバードボンドプールで分別管理
追加担保	住宅銀行は、リスクアセット比8%相当の追加担保準備義務あり
対象資産	住宅ローン、不動産ローン等、明確に列挙
LTV規制	住宅用：75～80%、商業用・農業用：60～70% 基本的に、償還までLTV規制を順守する必要あり (下回った場合は、カバードボンドを組成・発行した住宅銀行に追加担保拠出義務あり)
監督当局	カバードボンドを組成・発行する住宅銀行は、デンマーク金融当局の管理監督下にある カバードプールの管理者もデンマーク金融当局が任命

ご連絡先(日本語対応可)



[営業担当]

- ・河合 千宏 (chihiro.kawai@shinkin.co.uk)
- ・福元 健太 (kenta.fukumoto@shinkin.co.uk)

Shinkin International Ltd.

住所	: 1st Floor, 85 London Wall, London EC2M 7AD
ホームページ	: http://www.sil-uk.net
電話	: +44(国番号) - 20-7562-0500(代表)
	: +44(国番号) - 20-7374-4633(営業直通)
FAX	: +44(国番号) - 20-7256-8544
Eメール	: information@shinkin.co.uk

本資料は、信金インターナショナル(以下、「信金インター」と称します。)が、情報提供のみを目的として作成したものです。本資料に含まれる情報は、作成時点の公開情報および信金インターが信頼性が高いと考える情報源に基づいていますが、信金インターはその正確性または完全性について何ら表明または保証するものではありません。
本資料中の見解は信金インターの見解であり、変更される可能性があります。信金インターは、本資料中の見解または情報を更新する義務を負いません。
信金インターおよびその関係会社ならびに各々の役員・従業員は、本資料またはその内容を使用したことにより直接的あるいは間接的に生じた損失について、いかなる責任も負いません。